

正負の数 No.19

組 番 氏名 教師用

1 復習問題（個人→周囲→一斉）

(1) 次の式を乗法だけの式になおして計算しましょう。

$$\begin{aligned} \text{① } -20 \div \frac{8}{5} \times \left(-\frac{4}{15}\right) &= -20 \times \frac{5}{8} \times \left(-\frac{4}{15}\right) \\ &= + \left(\frac{20}{1} \times \frac{5}{8} \times \frac{4}{15}\right) \\ \text{② } -\frac{14}{3} \div \left(-\frac{2}{3}\right) \div (-7) &= -\frac{14}{3} \times \left(-\frac{3}{2}\right) \times \left(-\frac{1}{7}\right) \\ &= - \left(\frac{14}{3} \times \frac{3}{2} \times \frac{1}{7}\right) \end{aligned}$$

①	乗法だけの式： $-20 \times \frac{5}{8} \times \left(-\frac{4}{15}\right)$	答： $\frac{10}{3}$
②	乗法だけの式： $-\frac{14}{3} \times \left(-\frac{3}{2}\right) \times \left(-\frac{1}{7}\right)$	答： -1

(2) 次の ① と ② の場面で、それぞれの答えとそれを求める式をかきましょう。

① 6個のアメが入った袋が4つあります。

袋からアメをすべて取り出して、Aさん、Bさん、Cさんの3人で同じ数ずつわけました。

Aさんはアメを自宅に持ち帰り、持っている個数の半分を弟にプレゼントしました。

Aさんが持っているアメの個数を求めましょう。

② 4人乗りの車が3台と、5人乗りの車が4台、7人乗りの車が2台あります。

すべての車を使うとき、車に乗れる最大の人数を求めましょう。

①	式： $6 \times 4 \div 3 \div 2$	答え： 4 個
②	式： $4 \times 3 + 5 \times 4 + 7 \times 2$	答え： 46 人

前回の授業では、乗法と除法の混じった式の計算について考えました。

今回の授業では、加減と乗除の混じった式の計算について考えます。

今日のめあて

加減と乗除の混じった式の計算方法について考えてみよう。

正負の数 No.19

組 番 氏名 教師用

② 復習問題を参考に、加減と乗除の混じった式の計算方法について考えてみよう。(班)

○用語の確認

四則 … 加法、減法、乗法、除法をひとまとめにした呼び名。

○パターン1：乗除の混じった式の計算（復習問題(2)の①）

乗除の混じった式は、（左 ・ 右）から順に計算する。

※復習問題(1)のように逆数をつかい、乗法だけの式になおして計算することもできる

○パターン2：四則の混じった式の計算（復習問題(2)の②）

加減と乗除の混じった式（＝四則の混じった式）は、（加減 ・ 乗除）を先に計算する。

問1：次の式を計算しましょう。

$$\begin{aligned}(1) \quad & -6 \div 3 \times (-5) \\ & = (-6) \div (+3) \times (-5)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) \quad & -1 - 7 \times (-2) \\ & = (-1) + (-7) \times (-2) \\ & = (-1) + (+14)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) \quad & 16 - 12 \div (-4) \\ & = (+16) + (-12) \div (-4) \\ & = (+16) + (+3)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) \quad & 4 \times (-8) - (-5) \times 3 \\ & = (+4) \times (-8) - (-5) \times (+3) \\ & = (-32) - (-15)\end{aligned}$$

(1)	10	(2)	13
(3)	19	(4)	-17

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、四則の混じった式のなかでも、さらに（ ）や累乗がある式の計算について考えます。

正負の数 No.19

組 番 氏名

1 復習問題

(1) 次の式を乗法だけの式になおして計算しましょう。

① $-20 \div \frac{8}{5} \times \left(-\frac{4}{15}\right)$ ② $-\frac{14}{3} \div \left(-\frac{2}{3}\right) \div (-7)$

①	乗法だけの式：	答：
②	乗法だけの式：	答：

(2) 次の ① と ② の場面で、それぞれの答えとそれを求める式をかきましょう。

① 6個のアメが入った袋が4つあります。

袋からアメをすべて取り出して、Aさん、Bさん、Cさんの3人で同じ数ずつわけました。

Aさんはアメを自宅に持ち帰り、持っている個数の半分を弟にプレゼントしました。

Aさんが持っているアメの個数を求めましょう。

② 4人乗りの車が3台と、5人乗りの車が4台、7人乗りの車が2台あります。

すべての車を使うとき、車に乗れる最大の人数を求めましょう。

①	式：	答え：	個
②	式：	答え：	人

前回の授業では、乗法と除法の混じった式の計算について考えました。

今回の授業では、加減と乗除の混じった式の計算について考えます。

今日のめあて

正負の数 No.19

組 番 氏名

② 復習問題を参考に、加減と乗除の混じった式の計算方法について考えてみよう。

○用語の確認

… 加法、減法、乗法、除法をひとまとめにした呼び名。

○パターン1：乗除の混じった式の計算（復習問題(2)の①）

乗除の混じった式は、（左・右）から順に計算する。

※復習問題(1)のように逆数をつかい、乗法だけの式になおして計算することもできる

○パターン2：四則の混じった式の計算（復習問題(2)の②）

加減と乗除の混じった式（＝四則の混じった式）は、（加減・乗除）を先に計算する。

問1：次の式を計算しましょう。

(1) $-6 \div 3 \times (-5)$

(2) $-1 - 7 \times (-2)$

(3) $16 - 12 \div (-4)$

(4) $4 \times (-8) - (-5) \times 3$

(1)		(2)	
(3)		(4)	

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、四則の混じった式のなかでも、さらに（ ）や累乗がある式の計算について考えます。